

60  
324

申籍  
封地

瑞陽市鐵石已  
勸業街  
改茅土校道計

一 北七年月日  
一 北七年月日  
一 北七年月日  
瑞陽市鐵石已  
勸業街  
改茅土校道計  
此校及  
瑞陽市鐵石已  
勸業街  
改茅土校道計  
此校及

封地  
瑞陽市鐵石已  
勸業街  
改茅土校道計  
職業雜貨商

長  
敬  
生年月

同  
生年月

故



昭和十八年十二月十日滿洲第一六六二部隊軍屬傭人

ト云探用サレ日給壹圓七拾錢

昭和二十年八月大連避難シ同年九月大連市立病院ニ  
入院ス

昭和二十年四月十三日同院ニ死ス

9-13

給典金未支給

本給

昭和三年八月ヨリ  
昭和三年四月迄

戦地増俸

昭和三年八月ヨリ  
昭和三年十月迄

加算給 十一割

昭和三年四月

陸軍校予



95/4

2209

死亡確認書

昭和三十二年 五月十三日	昭和三十二年 五月十三日	昭和三十二年 五月十三日	昭和三十二年 五月十三日	昭和三十二年 五月十三日	昭和三十二年 五月十三日	昭和三十二年 五月十三日	昭和三十二年 五月十三日	昭和三十二年 五月十三日	昭和三十二年 五月十三日	昭和三十二年 五月十三日	昭和三十二年 五月十三日
備	整	屬	軍	屬	軍	屬	軍	屬	軍	屬	軍
[Redacted Name]											
[Redacted Address]											
[Redacted Residence]											
[Redacted Parent Name]											
[Redacted Parent Address]											
[Redacted Unit]											
[Redacted Location]											
[Redacted Cause]											
[Redacted Burial Info]											

右確認す

昭和三十二年五月十三日 旧所属部隊 航空支隊 満州地方司令部

氏現住者との関係 同期生 友



# 死亡状況調書

民生部世話課

(一) 死亡者について										
所屬部隊	本籍地	死亡年月日	死亡事由(病名)	遺骨の有無	死亡者特遺其の他について	死亡者との關係	死亡者の年齢	職階、大隊長、中、小隊長	陸軍省の別	職階
〇〇〇〇	〇〇	昭和二十一年四月	戦死(不明)	不明	〇 (死亡前後の状況(成るべく詳細に記入下さい))	〇	二〇歳	中隊長	陸軍省	中隊長
<p>終戦後中国軍特務工作隊に参加し昭和二十一年四月十八日頃滿洲新京特別市において中国軍と中共軍の内乱衝突に参戦し同年四月三十一日夜より中国軍退却を開始す其の特中共軍の流弾に[ ]君に命中し死せしむ。</p> <p>(京控の方覚書状に報告するに而稿し死すと承知す)</p>						<p>四入隊前職業 [ ] [ ]</p>				

166-13

死亡者現認證明書

所屬部隊名 朝鮮平壤府第一八四部隊

官等階級名 陸軍上等兵

本籍地

死亡年月日 昭和二十一年四月三十日午前五時

死亡原因 戰病死

死時場所 滿洲國醫官署延吉平壤海院第一海隊第二班五分隊

傷病名 榮養失調

遺棄の有院引揚際 遺送之旨(病院側回答)

理認事由 入隊時同僚ヲ知り合フ。返院後見舞。際、病院側ニリ

證明年月日 昭和二十一年二月十八日

所屬部隊名 朝鮮咸鏡南道興南軍管署

官等階級名

傷病名

遺棄の有院引揚際

理認事由

證明年月日

所屬部隊名

職 實 務 同 事

昭和二十一年九月...

本籍地

[Redacted]

現任所

同上

所属部隊  
固有事務  
第三十九飛行大隊

勤務地

本籍滿洲(公三部隊)

徵集年

昭和十七年

現

兵務部

官等級 兵長

死後

氏名

[Redacted]

住

所

[Redacted]

籍

父

生年月日

[Redacted]

勤務地

不詳

病部

胸部

年月日

昭和二十一年五月八日

場所

吉林省

死亡時

行軍途中 遭敵軍少隊襲

死亡

狀况

年月日

左

所

左

死亡時

即死

右 證 明

本籍地

[Redacted]

所属部隊

滿洲第九三部隊

陸軍一等兵

[Redacted]



# 死亡現認（確認）證明書

裏面記載上の注意を見て書いて下さい。

※（調製月日）昭和 28 年 / 月 20 日

※（調製官署）

世澄

資 料 資 料 資 料	資 料 の 者 亡 死				現 留 守 住 担 当 者 區 分 所 内	本 籍 地	無 有 の 肩 無 ※		
	死 亡 法	死 亡 時 刻	死 亡 場 所	死 亡 日 時			本 籍 地	隊 部 所 有 同 所 有 同 所	
								隊 部 所 有 同 所 有 同 所	隊 部 所 有 同 所 有 同 所
資 料 資 料 資 料	死 亡 法	死 亡 時 刻	死 亡 場 所	死 亡 日 時	現 留 守 住 担 当 者 區 分 所 内	本 籍 地	無 有 の 肩 無 ※	無 有 の 肩 無 ※	
資 料 資 料 資 料	死 亡 法	死 亡 時 刻	死 亡 場 所	死 亡 日 時	現 留 守 住 担 当 者 區 分 所 内	本 籍 地	無 有 の 肩 無 ※	無 有 の 肩 無 ※	
資 料 資 料 資 料	死 亡 法	死 亡 時 刻	死 亡 場 所	死 亡 日 時	現 留 守 住 担 当 者 區 分 所 内	本 籍 地	無 有 の 肩 無 ※	無 有 の 肩 無 ※	

資 料 資 料 資 料

死 亡 法

死 亡 時 刻

死 亡 場 所

死 亡 日 時

現 留 守 住 担 当 者 區 分 所 内

本 籍 地

無 有 の 肩 無 ※

無 有 の 肩 無 ※

資 料 資 料 資 料

死 亡 法

死 亡 時 刻

死 亡 場 所

死 亡 日 時

現 留 守 住 担 当 者 區 分 所 内

本 籍 地

無 有 の 肩 無 ※

無 有 の 肩 無 ※

資 料 資 料 資 料

死 亡 法

死 亡 時 刻

死 亡 場 所

死 亡 日 時

現 留 守 住 担 当 者 區 分 所 内

本 籍 地

無 有 の 肩 無 ※

無 有 の 肩 無 ※

254

34-13

2219



事實證明

本籍地

居住所

部隊名

(固有名) 滿洲第九一六部隊 隊 迎命臨(滿洲第四軍司令部) 先付

昭和拾八年八月三日 補完兵糧 首領 死亡 上軍兵 死亡後

氏名

生年月日

檜 桐

氏 名

内地陸海山嶽年月日

戰地到着年月日

昭和拾八年八月三日

部隊名

疾病(受傷)年月日	昭和二十一年四月五日入院
疾病(受傷)場所	以前ヨリ軽度ノ肋骨カリエスナリシモ北寧ニ於テ入院
病名(受傷)部位	肋骨カリエス
疾病(受傷)時ノ状況	昭和二十一年四月初ニ黑河ヨリ北寧へ行軍中ヨリ病情進行シ北寧到着後直ニ入院
死亡年月日	昭和二十一年五月十五日
死亡場所	滿洲國北寧陸軍病院
死亡原因	戦病死
死亡時ノ状況	入院後病情トシニ悪化加ルニ致シ發熱ノ為全病解發シテ死セス
備考(特別記入)	

昭和二十一年 月 日

古 謝 明 ス

本 籍 地 [Redacted]  
 所 属 部 隊 滿洲國偽滿防務部第五七六部隊(獨立混成旅團第八大隊)

官 階 中尉 氏 名 [Redacted]

◎註一 部隊名ハ固有名、通稱等共ニ記入ノコト  
 二 推定及他ヨリノ應屬ニ關スル事項ハ其ノ旨明記スルコト

一八〇〇〇〇〇〇〇 四七〇

現認證明書

地方世話

死者	所屬部隊	滿洲第八四一部隊	
	本籍地	[Redacted]	
亡	級	現役	死亡階級
	種	現役	前級
者	死亡年月日時	昭和二年五月廿一日十五時〇〇分	死亡場所
	死亡區分	疾病死	死亡事由
保留宅住所氏名	[Redacted]		
状況の時當亡死	終戦後ノ運軍占領下ニアリテ勞務ニ従事セリ五月十日夕方アリテ突然ニ容体重シ儘ニ至リ十五時病状急重ニシテ死亡ニ至リ		
係の者死と	親友		

右現認證明致します

昭和二年五月二十日

現認

本籍	[Redacted]
現住所	[Redacted]
所屬部隊	滿洲第八四一部隊
官守氏名	[Redacted]

3022

死亡事實證明書

本籍地

現住所

所屬部隊

靖中一八四一七部隊

徵集年昭七

官等級

陸軍藥劑少尉

(國有)

昭和三十五年五月

三月三日

三時三分(時刻不明)

長春順天通火町

於

肺病

炎

に依り

戦(公)病死

昭和三十五年五月

現認

有

注

本氏

死亡前

口

病

詳

昭和三十五年五月五日



現認證

死	死	入營應召年月日	內地港灣	外港港灣	主要作戰名及	期間並三其	時職務
	階級進級	年月日	又營應召	又營應召	其他	其他	其他
留守現任所	本籍地	本籍地	本籍地	本籍地	本籍地	本籍地	本籍地
相當者續柄氏名	本籍地	本籍地	本籍地	本籍地	本籍地	本籍地	本籍地
本籍地	本籍地	本籍地	本籍地	本籍地	本籍地	本籍地	本籍地
部隊通稱號	洲一六五三一	洲一六五三一	洲一六五三一	洲一六五三一	洲一六五三一	洲一六五三一	洲一六五三一
所屬固有名	中隊	中隊	中隊	中隊	中隊	中隊	中隊
階級氏名	階級氏名	階級氏名	階級氏名	階級氏名	階級氏名	階級氏名	階級氏名
年	年	年	年	年	年	年	年
役	役	役	役	役	役	役	役
年	年	年	年	年	年	年	年
年	年	年	年	年	年	年	年

死亡認定

死

死亡理由

死亡理由

功績等其要

死亡前後、状況(本人並ニ所屬部隊)

死亡認定理由

(自認)

(死体埋葬)

右之通り認定ス

他ノ他ノ其ノ他

所屬部隊番号(五二〇三隊)

現住所

官等氏名印

備考

不明セル所成ルベク詳シク記載セラレ度ク

死亡認定ノ理由ニ其ノ確度(例ハ昭和十九年十月二日甲ヲ示サレ度ク)

甲 確實ナルモノ、乙 記憶ウスキモノ、丙 他人ヨリキクモノ

事實證明書

一、本籍地

一、所属氏名

一、身分

一、死亡年月日

一、死亡場所

一、傷病名

一、死亡区分

一、事由

関東軍輸送飛行隊

軍属（雇員本俸月額六拾貳円）

昭和二十一年五月三十日

旧満洲国間島省延吉

銃殺（頭部貫通銃創）

戦傷死

本名は昭和二十年八月九日日ソ開戦に際し旧

写真処作業課より関東軍輸送飛行隊に編入

られ、昭和二十年八月十三日新京出發軍家族（関東軍

司令部及び関東軍輸送飛行隊家族）の北鮮への護送を命

ぜられ、昭和二十年八月十七日北鮮宣川に到着、只

家族の護護に従事し昭和二十年十一月中旬ソ軍の為

年 月 日生

80-15

昭和二十九年六月十八日  
右の通り相違なき事を証明致します。  
一、参考事項  
本名の所屬、氏名、身分、及び死亡の事実は千葉県小  
中台町厚生省未帰還調査部第四課航空遊保管第四東区  
輸送飛行隊留守名簿及死亡者速名簿に於て記載されて  
いる。  
（氏名）  
（住所）  
（身分）  
（死亡の事）

昭和二十九年六月十八日

（調査部輸送飛行隊留守名簿及死亡者速名簿）

現在所

80-16

2222